事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	３人	２人	人	人	５人

前回の改善計画
・利用し始めたご利用者の、見えてきた部分の情報を、ケース入力し情報共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果
・新規ご利用者には不安を感じさせないよう声掛けした ・情報だけではわからない事もあり、ご利用者の動向を観察したり今までの生活歴や習慣を理解しながら情報収集し、共通の話題や話題の提供を行った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	3			5
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？		5			5
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	4			5
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	1	3	1		5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ニーズについては利用前に情報共有し情報が共有出来ている
・利用し始めて間がないご利用者に関しては、動向を観察し他のご利用者との関係づくりに配慮している
・新規利用者についてはコミュニケーションを図るよう気を遣っている
・共通の話題で声掛けし、他のご利用者との会話に入りやすいよう雰囲気づくりをしている
・家族それぞれに思いや考えの違いはあると思うが、不安や心配がないように声掛けに配慮し支援している

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・家族・介護者の不安が理解できていない
・実際、情報だけではわからない事もあり本人を観察する時間が必要である
・家族の希望と本人の気持ちが異なり支援に繋がらないことがある

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・新規利用者の情報を収集しケースに落とす

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
２．「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	１人	３人	１人	５人

前回の改善計画
・利用者一人一人の希望や思いを知る。

前回の改善計画に対する取組み結果
・希望や思いをたずねる機会を増やした。 ・聞き取りはしたが、活用できなかったし、認知症があり難しいところもある。 ・七夕の願い事で気持ちは理解することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2	3			5
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		2	3		5
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		3	2		5
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？		3	2		5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・希望にそってサービスの変更、追加が出来ている ・日々ご利用者のペースで出来ることを探りながら過ごして頂いている ・日々楽しんで頂けるよう頑張っている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・なかなか聞き取りする時間がない ・意識出来ていない ・日々の業務に追われている ・自分の考えや思いを話す事が難しく、本人に目標やしたいことが聞き取れない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・利用者の一人一人の希望や思いを知る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	２人	２人	１人	５人

前回の改善計画
・利用者について知り得た情報はきちんと記録に残す。

前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者より話の中で聞き取りはできているが記録に記入できていない。 ・日々の業務に追われている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？			4	1	5
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	4			5
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		3	2		5
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？		5			5
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？		5			5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・体調の変化があれば即時に対応している。
・問題や改善点について、速やかにみんなで相談し対応できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご利用者の気持ちを汲み取れていない、把握は難しい
・日々の業務に追われ落ち着いた気持ちで利用者に寄り添い傾聴ができていない時がある。
・利用者の暮らし方について 10 個以上の把握ができていない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・利用者の気持ちや体調に変化を見逃さず情報共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	３人	２人	人	５人

前回の改善計画
・在宅時は難しい事も、ひなたぼっこを通して地域とのつながりを継続できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
・新型コロナウイルス感染拡大により地域とのつながりができなかった。 ・在宅時困難な利用者に対して支援の追加を行った。 ・認知症の利用者で区長、民生委員、包括支援センターで話し合いができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		2	3		5
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4	1		5
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3	2		5
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	2	2		5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者とのかかわりの中でこれまでの生活歴や家族との関係性等を把握している。 ・認知症の利用者が安心して地域で暮らせるよう話し合いをした結果地域で見守りができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・在宅時の様子が理解できていない利用者がいる。 ・今年はコロナウィルス感染予防の観点から、地域行事が中止になっているため参加できない	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・地域との関わりを断たないように、出来る限り地域での暮らしが継続出来る様支援していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	４人	人	人	５人

前回の改善計画
・高齢化により身体レベルの低下があり、在宅時も含め変化があれば柔軟に対応していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
・利用者のその日の状況に応じて柔軟に対応できていた。 ・利用者や家族の要望に極力お応えすることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		2	2	1	5
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	2	3	1		5
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	4			5
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	3			5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調不良になられても医療機関やご家族、ケアマネに連絡、相談できている。 ・その日の体調に合わせて柔軟な対応ができている。 ・日々の朝礼や職員会議等で利用者の体調変化等は共有できている。 ・LINE ワークスを活用し情報共有できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナウィルスもあり、地域資源が使えていない（ボランティアの受け入れなど）	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・引き続き、高齢化により身体レベルの低下があり、在宅時も含め変化があれば柔軟に対応していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	人	人	３人	５人

前回の改善計画
・状況を観察しながら、ボランティアの受け入れや学童クラブ、子育て学習センターとの交流再開を目指していく

前回の改善計画に対する取組み結果
・コロナウィルス感染予防の観点から、実施できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		1	2	2	5
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1	1	3	5
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			3	2	5
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？			2	3	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・コロナ禍でもできる行事を考えて行った。
・動きの悪い利用者に対し長寿の郷の理学療法士にきていただき、動きの指導を受けた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・コロナの感染予防の観点から、外部との交流ができない。
・学童クラブや子育て学習センターとの交流ができなかった。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・コロナの状況を見ながらボランティアの受け入れを再開する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	１人	４人	人	人	５人

前回の改善計画
・職員会議等で職員間での意見交換できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
・日々の業務の中で問題点や改善点について意見を出すことができた。 ・毎週提出する気づき報告で職員全員で検討する内容は検討している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	2	1		5
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5			5
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		4		1	5
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		2	2	1	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・家族からの意見、要望等について、支援に反映するようしている。 ・地域の方から聞かれることがあれば返答している ・気づきや職員会議、日々のミーティングで意見は言えている。また検討する内容は検討している。 ・運営推進会議で施設の状況を発信し地域の情報収集もできている。 ・ひなたぼっこだよりにて発信できた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・現在コロナウィルス感染予防から、いろいろな地域の活動が制限されている。 ・地域との交流はほとんどなく地域の意見を聞くことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・常に職員間で意見交換ができる環境をつくる。 ・運営推進会議で地域の声を聞き施設運営に反映できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	３人	２人	５人

前回の改善計画
・ヒヤリハット報告を活用して、職員会議等で解決策を話し合い対応する。 緊急性が高いときは朝礼で話し合い解決策を見出す。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ヒヤリハット報告は職員会議で話し合いをしている。また運営推進会議にて報告し意見をいただいている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	1	2	1	1	5
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			2	3	5
③	地域連絡会に参加していますか				5	5
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2	1	1	1	5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・コロナウィルス感染予防対策について、積極的にリスク管理に努めている。
・転倒の危険性があるご利用者は、立ち上がりや移動時注意して観察している。
・

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・コロナのために研修が中止になったり、参加機会がなくなった

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・職員会議でリスクマネジメントについて勉強会をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和　４年　１０月２２日
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	佐野・井田・中野・山口・小田垣

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	人	４人	１人	人	５人

前回の改善計画
・虐待防止の研修会をする。 ・ご利用者の前で職員同士で私語を話さないよう気をつける。
前回の改善計画に対する取組み結果
・虐待防止の研修会を行った。 ・ホール内での会話が職員同士の会話になることがあった。 ・プライバシーに関しては守っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	5				5
②	虐待は行われていない	5				5
③	プライバシーが守られている	4	1			5
④	必要な方に成年後見制度を活用している			1	4	5
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	3			5

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・個人情報の管理、プライバシー保護は意識して守られている。 ・虐待防止の研修会を行った。 ・プライバシーに関しては守られた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・成年後見人制度の理解ができなかった。 ・ホールで他の利用者の報告をすることがある。 ・言葉使いは気を付けているが友達のような使い方をしているときがある。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・身体拘束、虐待の勉強会を実施し、言葉使いを含めて振り返り、思いを持って対応、言葉かけを行うよう意識する。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人	代表者	伊藤　宣廣
事業所名	小規模多機能施設 ひなたぼっこ	管理者	小田垣　栄

法人・事業所の特徴	登録定員 14 名で建物も小さいですが、まさしく小規模で家庭的な雰囲気で温かい施設を目指しています。利用者様は貼り絵制作、洗濯たたみ、昼食準備や片付け、お昼寝の準備など自分が出来る事、施設内での役割を見つけることができ、生きがいを持ち住み慣れたこの生野の地で最後まで安心して暮らせる支援を心がけています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	１人	人	４人	人	１人	１人	人	１人	人	８人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の 確認	一つ一つの課題に対して、すぐに確認できる状況にして、職員会議で３ヶ月に１回程度状況確認し、改善計画を意識して取り組む。	今年はコロナウィルス感染予防に重点を置いたため、振り返りは出来なかったが、改善計画は一部意識して取り組むことが出来た。	委員の任期が２年の為理解する前に任期終了となる。	４月の職員会議で職員に説明ぢて、目標を共有する。また委員へは運営推進会議で説明する。
B．事業所の しつらえ・環境	月の担当者が季節に応じて壁画作成する。	月の担当者が季節に応じて壁画を考え、職員と利用者が協力し作成した。季節感のある施設作りができた。	ひなたぼっこだよりを見て工夫されている様子が見えた。	壁画作りは利用者と一緒に協力しながら制作する。 施設内は季節感を大切にする。
C．事業所と地域のかかわり	コロナ感染対策をしながら地域との関りを模索する。	コロナ感染対策のため、交流が出来なかった。地域の行事は殆どが中止になり、ボランティアの受け入れも中止になった。	コロナ禍で地域の行事も中止となっている。	地域に発信する為、引き続きひなたぼっこだよりを配布する。
D．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続き、民生委員と情報共有し連携してご利用者の地域生活を支えて行く。 ご利用者の地域行事への参加を促す。	民生委員と情報共有し、ご利用者の地域生活を支えさせて頂いた。 コロナ感染拡大の為地域行事に参加できなかった。	認知症の利用者に対して「向こう三軒両隣」の会を持ち、地域で見守り体制ができたことは良いことだと思った。	利用者の地域での暮らしを支える意味で、地域行事には参加されるよう声掛けを行う。

Ｅ．運営推進会議を活かした取組み	ひなたぼっこの行事やご利用者の対応で困る事など、相談をさせて頂く。	災害時の避難の在り方やコロナ感染の対応、利用者の対応等についていろんな意見をいただくことができた。	ひなたぼっこの取り組みの説明がしっかり聞けた。 地域のことも話せる機会がありよかった。	運営推進委員より意見を聞き施設運営に活かす。
Ｆ．事業所の防災・災害対策	年２回避難訓練を行う。	避難経路の確認と一緒に消防署に通報する訓練を行った。 泊り時の避難経路や避難方法を検証した。	夜間泊りの避難方法については何回もシミュレーションすることが必要。	夜間想定の避難訓練の実施。 火災時について運営推進会議で意見をいただく。